



# 2030冬季オリンピック・ パラリンピック招致について

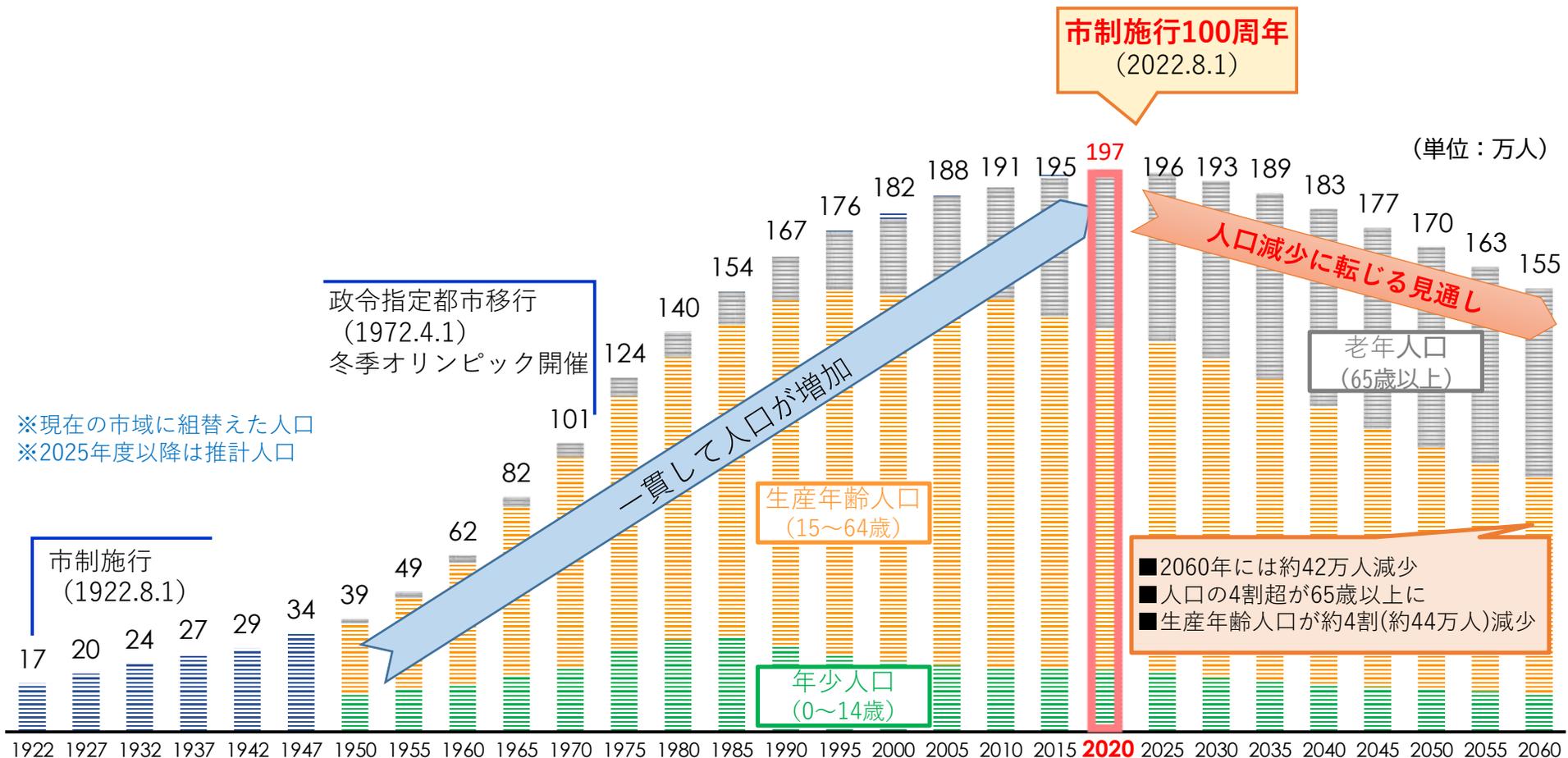
札幌市スポーツ局 招致推進部

**Q1**

**2030年、なぜオリンピック・  
パラリンピック招致なの？**

# 2030年、なぜオリンピック・パラリンピック招致なの？

- ※ 政令指定都市移行・冬季オリンピックを経て大きく飛躍
- ※ ここ数年のうちに人口減少に転じる見通し



# 2030年、なぜオリンピック・パラリンピック招致なの？

## 1972年 冬季オリンピック大会

- ※ 人口急増社会 ～ 100万人 ⇒ 200万人
- ※ 交通渋滞 ～ 大量輸送手段（地下鉄開業）
- ※ 住宅不足 ～ 住宅用地造成（真駒内）
- ※ 石炭公害 ～ 地域暖房整備

## 2030年 冬季オリンピック・パラリンピック大会

- ※ 人口減少・高齢化社会への対応（200万人 ⇒ 155万人）
- ※ 健康寿命の延伸
- ※ 共生社会の実現
- ※ ゼロカーボン都市へ

次の100年に向けたまちづくりを加速化するきっかけ

**Q2**

**2030年大会、どんな開催計画なの？**

## ■ 大会がもたらすまちの未来

### 大会ビジョン

札幌らしい持続可能なオリンピック・パラリンピック  
～人と地球と未来にやさしい大会で新たなレガシーを～

- ※ 「スポーツ・健康」 「経済・まちづくり」 「社会」 「環境」  
の4つの分野を設定
- ※ 目指すまちの姿（ターゲット）の構築と  
大会によりもたらされるもの（レガシー）を明確化

## スポーツ・健康

◆札幌市の特徴：健康寿命が全国平均より低い

ターゲット（目指すまちの姿）

スポーツによる健康で活力ある社会

レガシー（大会によってもたらされるもの）の一例

ジュニア選手の  
発掘・育成



気軽にスポーツが  
できる環境の整備



多くのボランティアと  
共に創る大会の実現



## 経済・まちづくり

◆札幌市の特徴：雪まつり期間以外の冬期は観光閑散期  
超高齢社会に適した交通体系の構築が必要

ターゲット（目指すまちの姿）

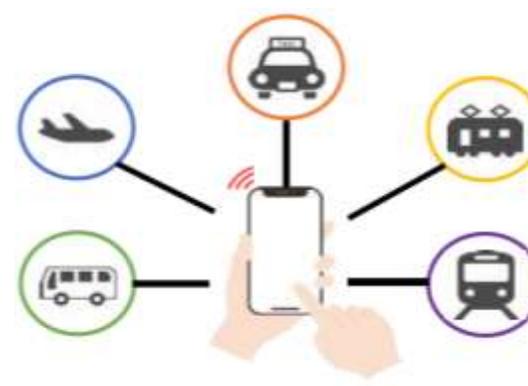
世界に躍進する魅力あふれるまちづくり

レガシー（大会によってもたらされるもの）の一例

スノーリゾートシティの実現



シームレスで快適な  
移動環境の構築



## 社会

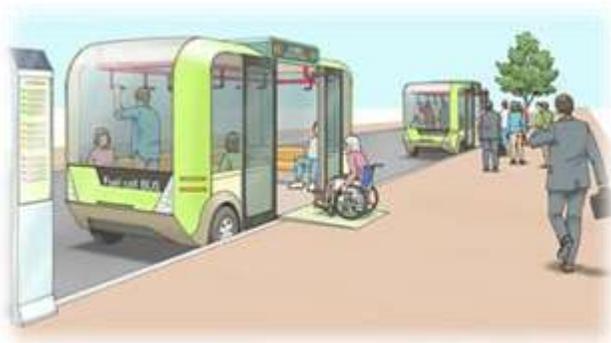
◆札幌市の特徴：障がいのある人のうち、  
地域で暮らしやすいまちと思う割合が低い

ターゲット（目指すまちの姿）

全ての人にやさしい共生社会の実現

レガシー（大会によってもたらされるもの）の一例

インフラの  
バリアフリー化促進



心のバリアフリーの普及



## 環境

◆札幌市の特徴：一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量が多い

ターゲット（目指すまちの姿）

次世代が豊かな自然を享受できるまち

レガシー（大会によってもたらされるもの）の一例

再生可能エネルギーの  
利活用



森林等の  
自然環境保全



## ■大会の概要

### 日程

#### 【オリンピック】

※ 期間：2030年2月8日(金)～2月24日(日)の17日間(想定)

※ 種目：7競技109種目

#### 【パラリンピック】

※ 期間：2030年3月8日(金)～3月17日(日)の10日間(想定)

※ 種目：6競技80種目

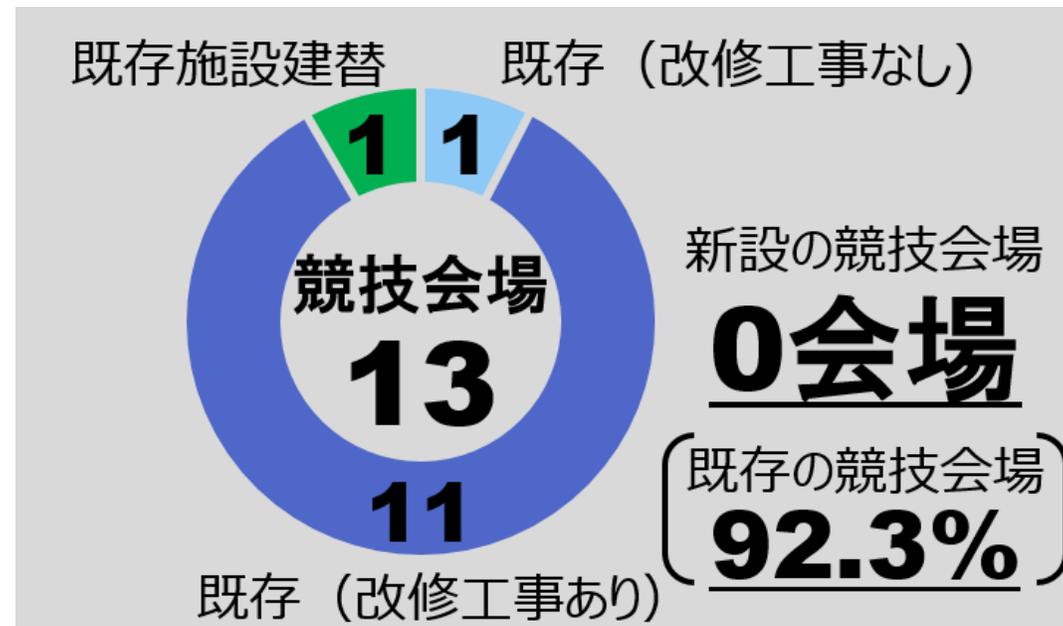
#### 【参加アスリート数】

※ 約3,500人

## ■会場配置計画

### 札幌ならではの会場配置計画

- ※ 1972年大会時の会場等、すでに市民利用されている施設を最大限活用
- ※ 都心の近くでウィンタースポーツを楽しめる、札幌の特徴を活かす
- ※ 樹木の伐採等は競技に必要な最小限の範囲内におさめ、低炭素化に貢献する新たな技術の導入等、環境保全に努める



## ■会場配置計画

### <競技会場>

1	西岡バイアスロン競技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バイアスロン</li> <li>▲ パラバイアスロン</li> <li>パラクロスカントリースキー</li> </ul>
2	長野市ボブスレー・リュージュパーク (スパイラル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ボブスレー・ボブスレー</li> <li>ボブスレー・スケルトン</li> <li>リュージュ</li> </ul>
3	月寒体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カーリング</li> <li>▲ 車いすカーリング</li> </ul>
4	新月寒体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アイスホッケー1</li> <li>▲ パラアイスホッケー</li> </ul>
5	北海道立真駒内公園屋内競技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アイスホッケー2</li> </ul>
6	スポーツ交流施設コミュニティドーム (つどーむ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スケート・フィギュアスケート</li> <li>■ スケート・ショートトラック</li> </ul>
7	帯広の森屋内スピードスケート場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スケート・スピードスケート</li> </ul>
8	大倉山ジャンプ競技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スキー・ジャンプ</li> <li>スキー・ノルディック複合ジャンプ</li> </ul>
9	白旗山競技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スキー・クロスカントリースキー</li> <li>スキー・ノルディック複合クロスカントリー</li> </ul>

■ オリンピック ▲ パラリンピック

10	ニセコエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スキー・アルペンスキー</li> <li>▲ パラアルペンスキー</li> </ul>
11	サッポロティネススキー場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スキー・アルペンスキー</li> <li>▲ パラアルペンスキー</li> <li>■ スキー・フリースタイルスキー</li> <li>スキー・スノーボード</li> <li>▲ パラスノーボード</li> </ul>
12	札幌国際スキー場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スキー・フリースタイルスキー</li> <li>スキー・スノーボード</li> </ul>
13	さっぽろばんけいスキー場	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ パラスノーボード</li> </ul>

### <非競技会場>

A	札幌ドーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開会式／閉会式／メダルプラザ</li> <li>▲ 開会式／閉会式／メダルプラザ</li> </ul>
B	札幌コンベンションセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メインプレスセンター</li> </ul>
C	新展示場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国際放送センター</li> <li>▲ 国際放送センター※1</li> </ul>
D	市営住宅月寒団地ほか※2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 選手村</li> <li>▲ 選手村</li> </ul>

※1…パラリンピック時は国際放送センターにメインプレスセンターの機能を配置する計画

※2…選手村は老朽化した市営住宅の建替計画と連動した整備のほか、既存ホテル活用など市内で2～3の分村を検討

※3…この計画は現時点での予定で、今後変更となる可能性がある

## ■札幌から広がるレガシー

❄ 「クライメート・ポジティブ」な大会、  
そして世界へ

2030年以降のオリンピックは、温室効果ガスの削減量が排出量を上回る  
「クライメート・ポジティブ」な大会であることが求められている

❄ 活力ある北海道、日本の実現

## ■大会を契機としたプロモーション

- ※ 北海道には、多様なウィンタースポーツを楽しめるフィールド
- ※ 開催決定後、開催都市を訪問する外国人が長期間にわたって増加傾向



## 北海道を世界屈指の一大ウィンターリゾートエリアへ発展

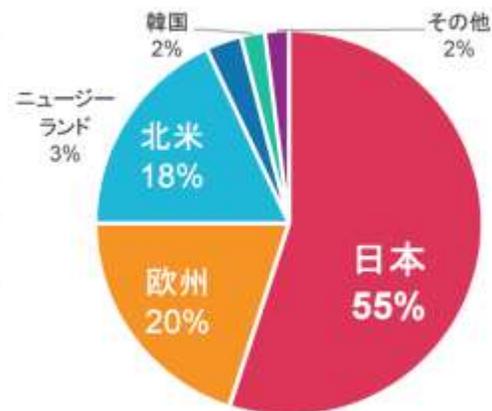
【参考】中国におけるスキー市場

中国人のスキー回数・スキー人口



(出典) 2018中国スキー産業白書

中国における人気スキー目的地



<富裕層にも日本でのスキーが人気>

概ね1,000万円（日本円：約1億8千万円）以上の資産保有者を対象とした調査においても、日本がトップになっています。

- 人気スキー目的地
- 1位 日本 (32%)
  - 2位 韓国 (10%)
  - 3位 カナダ (8%)
  - 4位 スイス (7%)

(出典) 2017中国スキー産業白書

## Q3

# 開催には、多額の経費がかかり、将来の 財政負担が増大しないの？

東京大会では、  
当初予算から倍増した！

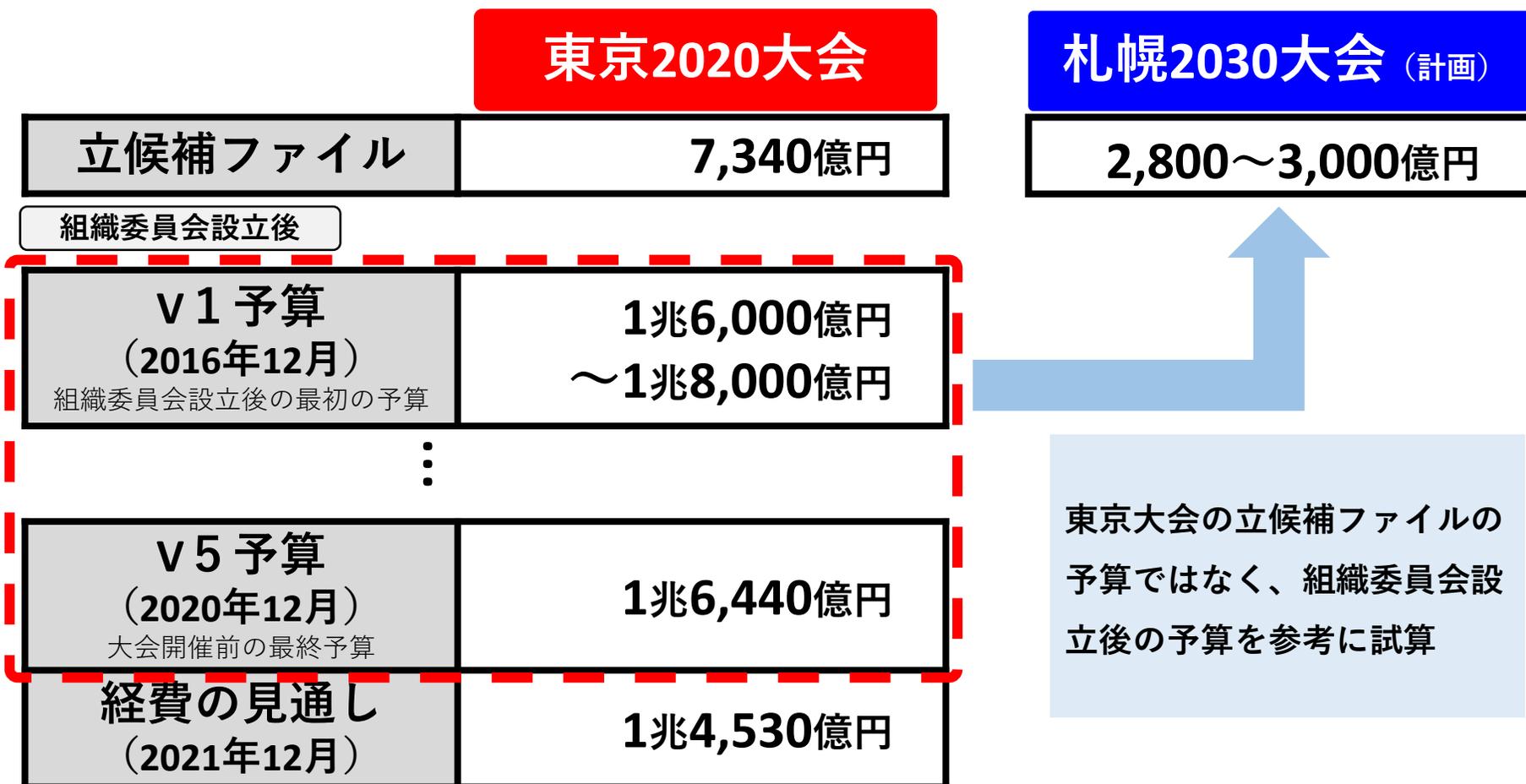
多額の大会経費は、福祉  
や他の事業に使うべき！

## ■東京2020大会と札幌大会概要（案）の比較

	東京2020大会	札幌2030大会（計画）
<b>参加選手数</b>	約 <b>15,500</b> 人	約 <b>3,500</b> 人
<b>競技数</b>	オリ <b>33</b> 競技 パラ <b>22</b> 競技	オリ <b>7</b> 競技 パラ <b>6</b> 競技
<b>施設整備費</b>	(恒久施設) <b>3,500</b> 億円	<b>800</b> 億円
<b>大会運営費</b>	<b>1兆 1,029</b> 億円	<b>2,000～2,200</b> 億円
<b>大会運営費の内訳</b>		
	仮設費 <b>3,321</b> 億円	仮設費 <b>600</b> 億円
	その他運営費 <b>7,228</b> 億円	その他運営費 <b>1,200～1,400</b> 億円
	新型コロナウイルス感染症対策関連 <b>480</b> 億円	予備費 <b>200</b> 億円
<b>大会経費合計</b>	<b>1兆 4,530</b> 億円	<b>2,800～3,000</b> 億円

※令和3年12月22日公表、  
「大会経費の見通し」より

## ■東京2020大会の予算変遷と札幌2030大会の予算



## ■ 主な施設整備

### 基本的な考え方

- ※ 今ある施設を活用する（観客席やテレビ放送に必要な照明などの一時的な増設は大会運営費で対応）。
- ※ 以下は、今ある建物などの老朽化に伴い、大会のタイミングで建て替えやリニューアルを行うことで、大会後にも引き続き活用することができる施設

### 【新月寒体育館】 365 億円（札幌市負担：214 億円）

- ※ 老朽化した、現在の月寒体育館を建替
- ※ 大会時にはアイスホッケーの競技会場として活用し、大会後には国際大会の開催に加えて、市民が利用できる施設として使用



### 【大倉山ジャンプ競技場】 78 億円（札幌市負担：78 億円）

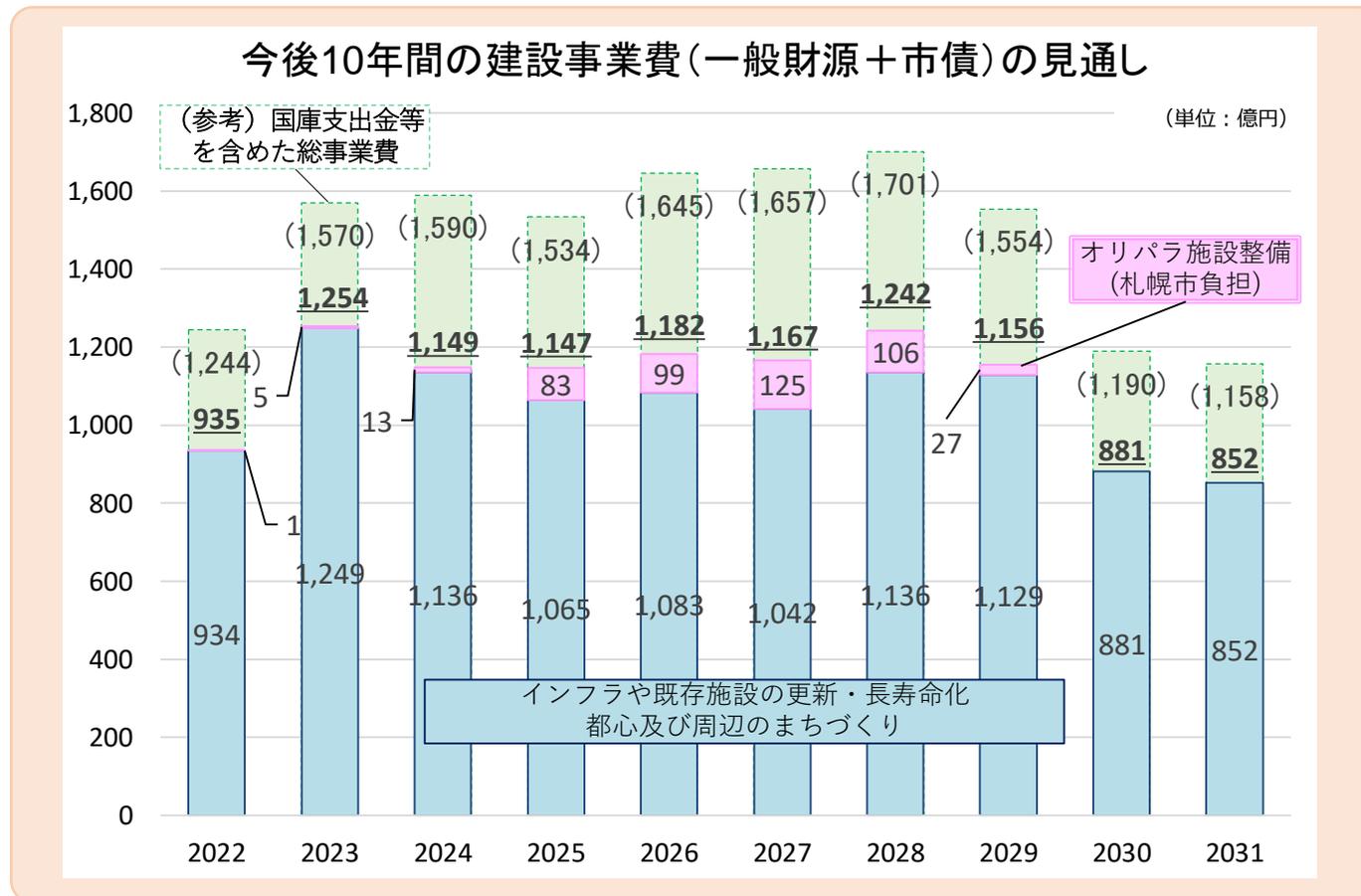
- ※ 大倉山ジャンプ競技場にノーマルヒルを併設してリニューアル
- ※ 大会時にはジャンプ競技の会場として活用し、大会後もジャンプ競技の会場として引き続き使用

### 【市営住宅月寒団地】 157 億円（札幌市負担：86 億円）

- ※ 月寒地区の市営住宅を集約・建替する計画と連動
- ※ 大会時には選手村として活用し、大会後に市営住宅として引き続き使用



## ■施設整備費が札幌市予算に与える影響



- ⇒ 各年度に占めるオリバラ施設整備費の割合は1割程度
- ⇒ 行財政改革を着実に進め、将来にわたって健全な財政運営を堅持
- ⇒ 約30年間で札幌市負担額を支払うと仮定した場合、市民一人当たり年間で約900円の負担

## ■大会運営費（組織委員会予算）

### 大会運営費（組織委員会予算）で考慮するポイント

- ※ 原則、税金は投入しない計画
- ※ 不測の事態への対応のため、予算の10%程度の予備費を確保
- ※ 収入に見合った効率的な大会運営

### 大会の運営に要する経費

収入項目	金額	支出項目	金額
IOC負担金、TOPスポンサー収入	800億円	仮設費用（観客席の 一時的な増設など）	600億円
国内スポンサー収入	800～1,000億円	その他運営費	1,200～1,400億円
その他（チケット、ライセン シング収入など）	400億円	予備費	200億円
収入合計	2,000～2,200億円	支出合計	2,000～2,200億円

## ■大会の経済効果

施設整備費及び大会運営費を用いて大会を実施した場合、

**約7,500億円（札幌市内分は約3,500億円）**

もの経済波及効果（直接的効果）が見込まれる。

〈参考〉経済波及効果内訳

	生産誘発額※1		粗付加価値誘発額※2		雇用者所得誘発額※3	
	全国	札幌市	全国	札幌市	全国	札幌市
	直接的効果	約7,500億円	約3,500億円	約4,000億円	約2,000億円	約2,000億円
例	 宿泊費		 宿泊先でのサービス		 働く人の給与	

※1 生産活動を賄うために直接・間接に発生した額 ※2 生産活動によって新たに付加された価値の総額

※3 雇用されている者に対する、労働の報酬として支払われる現金や現物の総額

大会の影響による冬季の観光客の継続的な増加など、さらなる経済効果（レガシー効果）も見込まれる。

## ■市民との対話

### 子どもワークショップ・市民ワークショップ（オンライン・対面開催）

#### 【開催概要】

- ※ 日程：1月下旬～2月中旬
- ※ 内容：オリンピックが参加し、講話や質疑応答のほか、参加者のグループワークにも参加



### シンポジウム（対面開催）

#### 【開催概要】

- ※ 日程：2月中旬～2月下旬
- ※ 内容：有識者やアスリートによるパネルディスカッションなど
- ※ 定員：300～400人程度

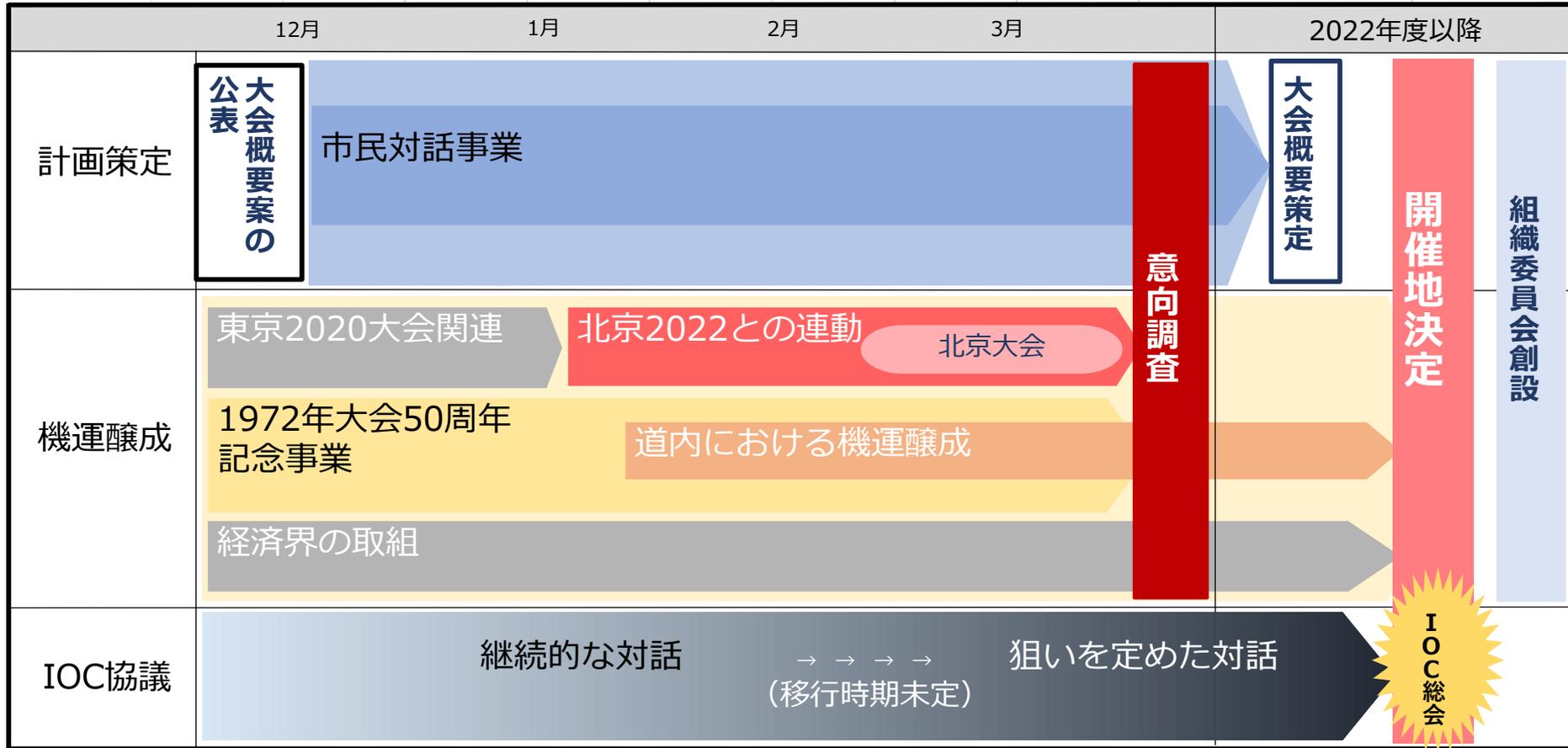


### 出前講座（対面開催）

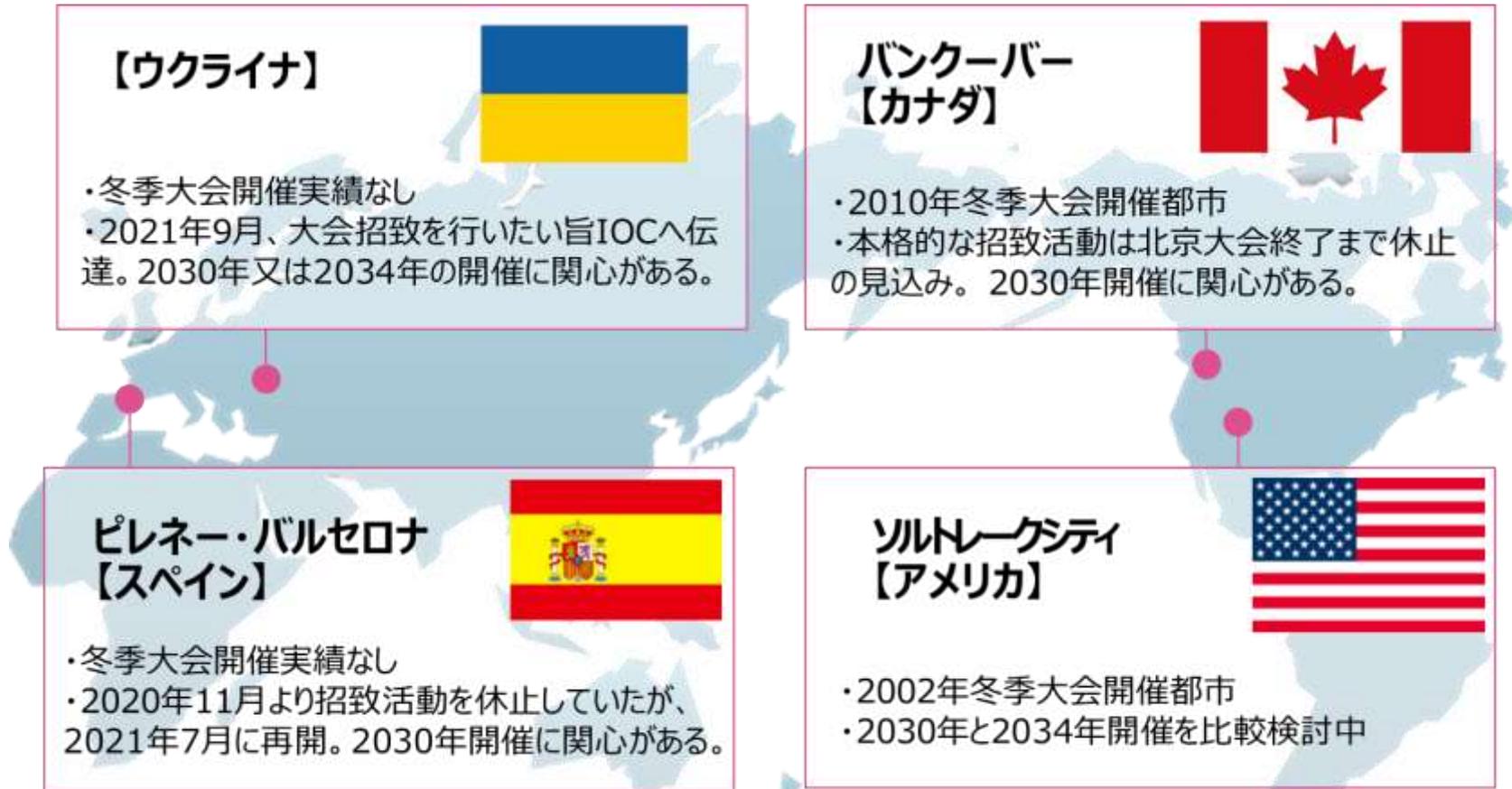
#### 【開催概要】

- ※ 内容：大会概要案の説明・意見交換
- ※ 対象：札幌市内にお住まい、または通勤・通学しているおおむね10人以上が参加予定の団体やグループ

## ■開催地決定に向けたスケジュール



# 冬季大会開催に関心を示す他都市・国



## 開催地決定プロセス



# 2022年 札幌は新しい100年へ



札幌が、もっとはじまる。